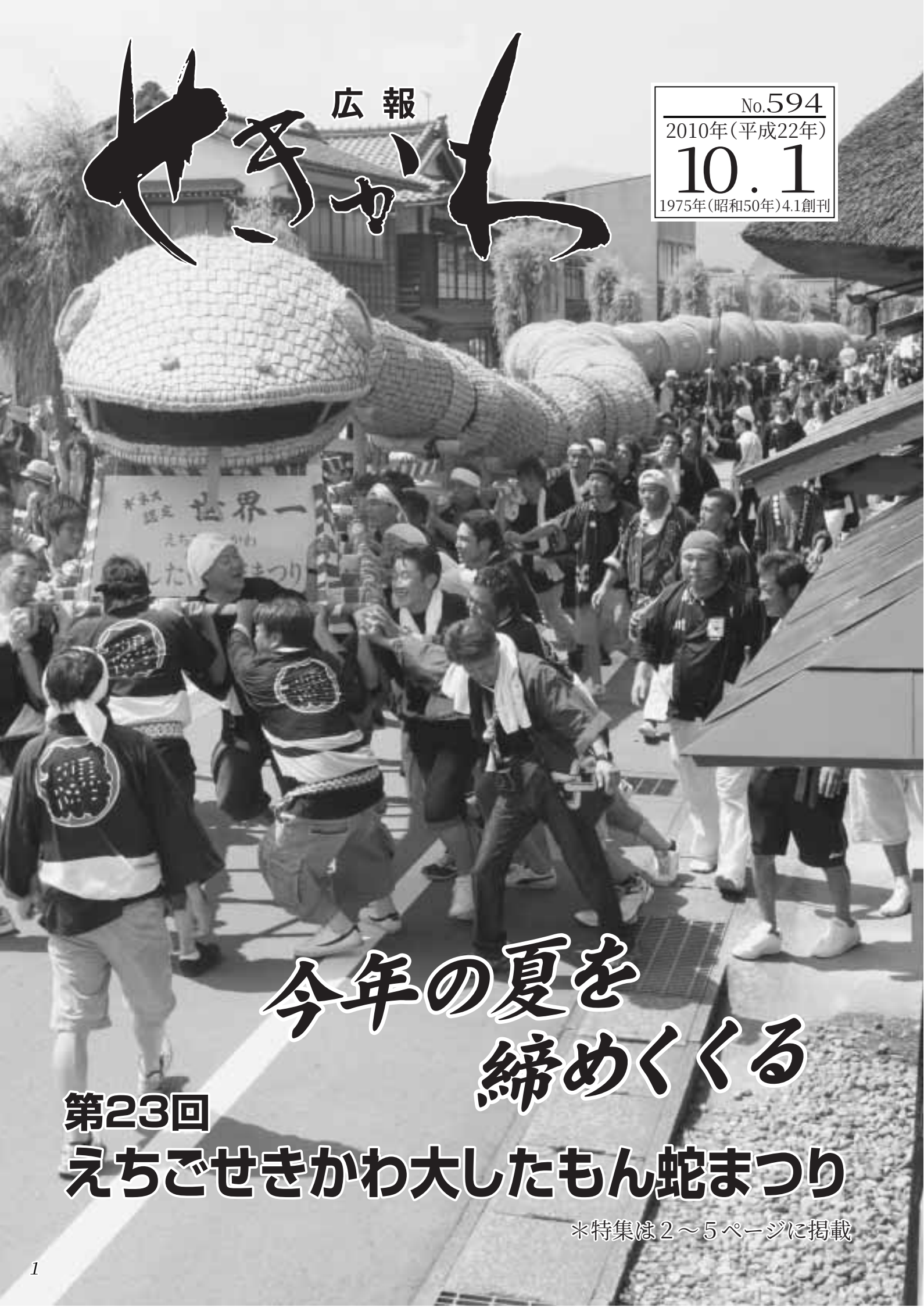
広報
やすかわ

No.594
2010年（平成22年）
10.1
1975年（昭和50年）4.1創刊



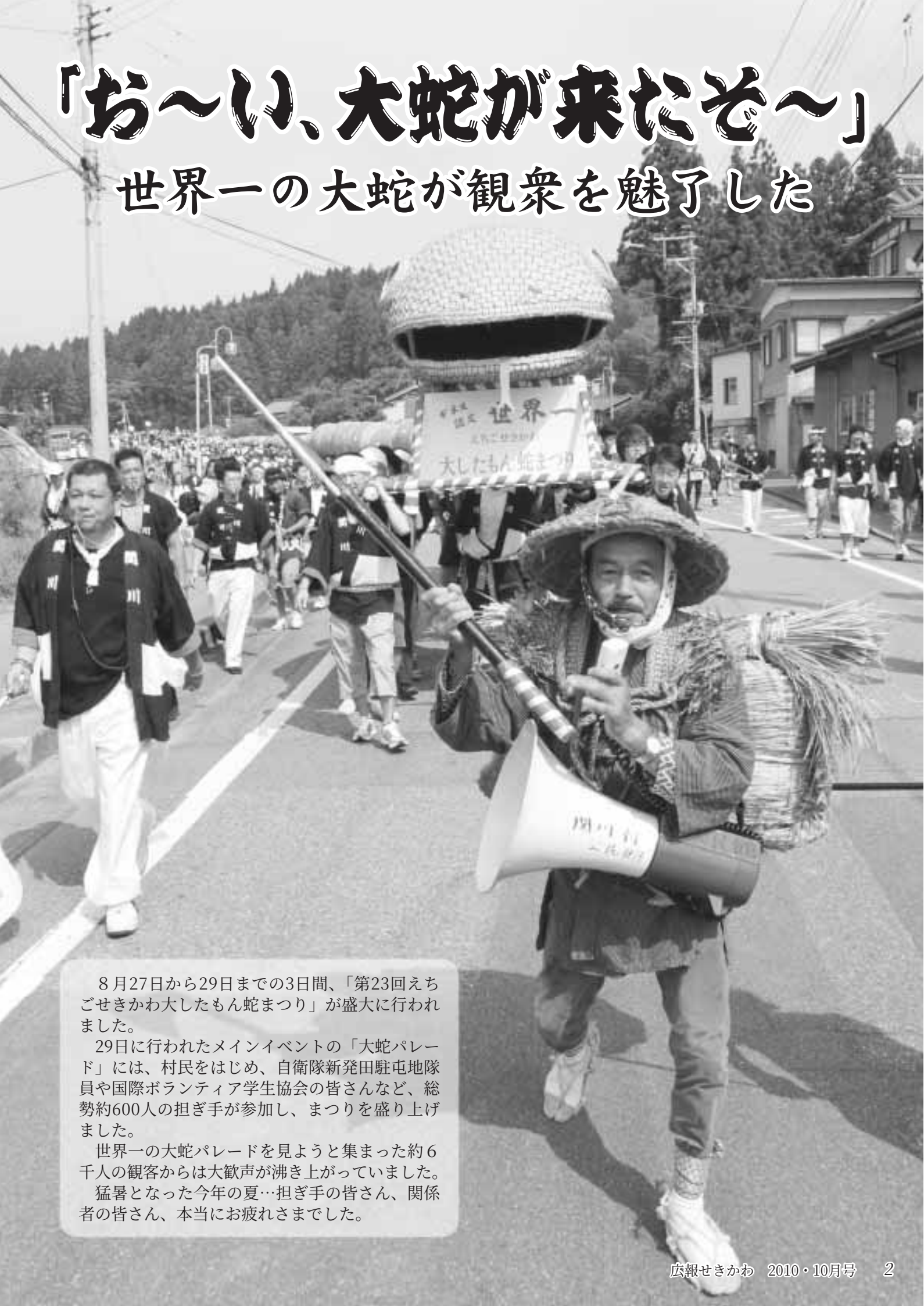
今年の夏を締めくくる

第23回
えちごせきかわ大したもん蛇まつり

＊特集は２～５ページに掲載

「お～い、大蛇が来たぞ～」

世界一の大蛇が観衆を魅了した



８月27日から29日までの3日間、「第23回えちごせきかわ大したもん蛇まつり」が盛大に行われました。

29日に行われたメインイベントの「大蛇パレード」には、村民をはじめ、自衛隊新発田駐屯地隊員や国際ボランティア学生協会の皆さんなど、総勢約600人の担ぎ手が参加し、まつりを盛り上げました。

世界一の大蛇パレードを見ようと集まった約６千人の観客からは大歓声が沸き上がっていました。

猛暑となった今年の夏…担ぎ手の皆さん、関係者の皆さん、本当にお疲れさまでした。

大したもん蛇まつり フォトアルバム2010

▲湯沢観音公園で行われた羽越水害殉難者供養祭のようす。

▶蛇喰集落では、安全祈願祭の後に、子どもたちによるミニ大蛇パレードが行われました。

▶夜空を彩った大輪の花火。荒川沿いは見物客で賑わいました。

▲灯ろう流しには、大勢の方が参加されました。

▶勇壮な大蛇パレード。観客から歓声が沸き上がりました。

関川村には「世界一」がある

▶関川中一年生も大蛇パレードに参加。暑い中ごくろうさまでした。

▶えちごせきかわ太鼓龍泉会による龍泉太鼓。

▲「えちご関川踊りた〜い」の皆さんによる、よさこいソーラン。まつりを盛り上げました。

▲熱戦を繰り広げた喜っ喜大会。
今大会を制したのは、貝津浩さん(新潟市)でした。

▲恒例の福まき。
大したもん蛇まつりを締めくくりました。

▲大蛇も今年の猛暑には疲れたことでしょう。
とりあえず来年までひと休み。

村に帰ってきました

国際ボランティア学生協会（ＩＶＵＳＡ）

▶関川中三年生との交流会

「ただいま帰りました」―。

八月二十七日、国際ボランティア学生協会（ＩＶＵＳＡ）百五十一人が、元気良く関川村へ帰ってきました。ＩＶＵＳＡが大したもん蛇まつりに参加してから今年で七年目。一年目は四十七人だった学生も今年は百五十一人と、参加する学生は年々増えていて、村の活性化に欠かせない存在となりました。

今年は、三泊四日の滞在となりましたが、滞在期間中は地域の茶の間へ参加しお年寄りと交流を深めたり、保育園の草取りなどのボランティア活動を行いました。

また、最終日には関川中三年生との交流会が行われ、普段、大学生と直接話す機会の少ない子どもたちは、大学生活など興味深く先輩たちの話を聞いていました。

ＩＶＵＳＡの学生たちは、「行ってきます」と言って、村を離れましたが、一年後「ただいま帰りました」と元気良く村へ帰ってきてくれると思います。その時は「お帰りなさい」と学生たちを迎えたいですね。

ＩＶＵＳＡからのお礼

大津　亮
（日本大学　４年）

太陽がきらめく中八十二・八ｍの大蛇を担ぎ、村を練り歩く、この「大したもん蛇まつり」とても熱くとても重かったです。しかし、その重さ一つ一つからこのまつりの伝統というものを感じられた気がします。人生で初めてなんじゃないかというぐらいの汗の量。でも自然ととてもすがすがしかった。このまつりに参加できて本当に良かった。また担ぎに行きます。

年に１度ぐらいしか帰って来られない僕らを「お帰りなさい」と迎えてくれる関川村は、僕ら学生のふるさと。たとえ離れていても、いつもふるさと関川村のことを思い続けています。また来年も今年以上の人数で「ただいま」を言いに行きたいと思います。

ありがとうございました。

大したもん蛇まつりのお礼

大会会長　平田大六

第23回えちごせきかわ大したもん蛇まつりに大勢の皆さまからご参加いただきありがとうございました。おかげさまで盛大なまつりになりました。

大蛇の担ぎ手は600人を超えました。村内では村上信用金庫関川支店、関川中生徒の団体参加、村外からは、国際ボランティア学生協会ＩＶＵＳＡ、新発田自衛隊、三条市まつり同好会の方々に加えて、妙高市やんちゃぼうずの皆さんの初参加もありました。

ＩＶＵＳＡの方々は、大蛇担ぎだけでなく、27日から来村され、草刈り奉仕、そして村民や中学生との交流も企画されました。

見物のお客さま6000人も新記録でしたし、ＮＨＫ全国放映もありました。

記録的な猛暑のなかで、たいへんごくろうさまでした。

今年もたくさんの
ご寄付をいただきました
ありがとうございました

大蛇パレード浄財　234,689円

10月1日から「商品券」「スタンプ券」で村税や公共料金の支払いができます

十月一日から、村商業協同組合（田中義一理事長）で発行している「商品券」と「スタンプ券（サービス券台紙）」を使って、村の公共料金や村税の支払いが可能となりました。

これは「地元の商店でもっと買い物をしてもらいたい」という同組合からの要望を受けて制度化したものです。

基本的に公共料金や村税の支払いには、地方税法や地方自治法上、現金や証券に限られていて、商品券やスタンプ券（サービス券台紙）による納付は認められていません。そこで村職員が納入通知書と共に商品券やサービス券台紙を一時預かり、現金と換える手続きを代行して納付するものです。

村と同組合では、地元商店の活性化、そして徴収率の向上や滞納防止につながると期待しています。

皆さんの疑問にお答えします

Q どのような場合に公共料金や村税に充てることができますか？

A 納入者が納入通知書とともに、商品券やサービス券台紙を役場会計窓口に持参する場合を原則とします。

また、徴税職員等が戸別訪問によって徴収する場合も対象とします。

Q 商品券やスタンプ券を換金するといくらになりますか？

A 商品券は額面の金額で換金できます。ただし、百円券は換金できません。

スタンプ券はサービス券台紙一枚に三百枚を貼付した場合で五百円の換金とします。

なお、つり銭は出せませんので、納付金額を超えるような商品券やスタンプ券（サービス券台紙）は預かることができません。

Q 利用できる公共料金は？

A 村営・村有住宅使用料、上水道・簡易水道使用料、下水道・農業集落排水使用料、保育料、学童保育料です。

Q 利用できる村税等は？

A 村県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料です。

問い合わせ先
総務課企画財政班
☎六四―一四七六

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.４　上手なお医者さんのかかり方（その２）

お医者さんにかかるとき、ちょっとした誤解や思い込みで治療が長引くことがあります。

また、休日や夜間に、軽症の患者さんが救急医療を受診すると、緊急性の高い重症の患者さんの治療に支障をきたすことがあります。

必要なときに、必要な方が安心して医療が受けられるように、医療機関の受診や薬局での薬の調剤の際には、以下のことに気をつけましょう。

「重複受診」をひかえましょう

「重複受診」とは、同じ病気で医療機関をつぎつぎと変更して受診することをいいます。

医療機関をお医者さんからの紹介なく変更すると、その都度、初診料がかかり、無駄な医療費が発生します。また、何度も検査や処置、投薬などを行うことになるので、体にも負担がかかります。

日ごろから、自分や家族の健康管理につとめ、何かしらの異変を感じたら、早期に「かかりつけ医」へ相談・受診することを心がけましょう。

ひんぱんに受診するのはひかえましょう

すでにお医者さんから診断を受けて、薬も処方されているのに、その薬を飲み終わる前に心配でまた受診するなど、特に体調が悪化したのでなければ、お医者さんから指定された日に受診しましょう。

夜間や休日の受診はひかえましょう

「昼間、普段の病院は混雑しているから」などという理由で夜間や休日に受診するのはやめましょう。

本来の診療費のほかに別料金を追加されますし、急病の方の治療に支障をきたす恐れがあります。

体調が急変したなどのやむを得ない場合を除いては、診療時間内に受診しましょう。

後期高齢者医療制度に関する問い合わせ先　住民福祉課福祉保険班　TEL　６４－１４７２

村上警察署管内で交通事故多発!!

昨年同時期に比べ、県内の交通事故死者数は３人増加し、村上警察署管内での交通事故発生件数も15件増加しています。村内でも昨年並みの発生件数となっていて、村上警察署交通課に村内で発生した交通事故の特徴を聞きました。

【交通事故の傾向】

□16時～18時の間に交通事故が多発
□国道113号線での交通事故が多い
□車両対車両、また、正面衝突・追突による事故が増加
□交差点及びカーブ地点で交通事故が多発
□土・日曜日の週末に交通事故が多発
□夜間よりも昼間に交通事故が多発
□乾燥路面での交通事故が多発

これらの傾向を認識し、交通事故を起こさないよう、遭わないよう安全運転を心がけましょう。

また、村上警察署交通課によると、依然として飲酒・酒気帯び運転が多いそうです。飲酒運転は重大な犯罪です。運転者はもちろん、車や酒の提供者、同乗者も罰せられます。飲酒運転は絶対にやめましょう。

村上警察署管内交通事故（人身）発生状況

（平成22年１月１日～９月20日）

区分	発生件数			死者数			負傷者数		
	本年	前年	増減	本年	前年	増減	本年	前年	増減
県内	6,938	7,419	▲481	78	75	3	8,533	9,121	▲588
村上管内	211	196	15	2	6	▲4	283	248	35
関川村	15	16	▲1	0	0	0	22	23	▲1

片貝トンネルで交通事故多発

今年に入り、人身事故が２件、物損事故が４件発生しています。（昨年は発生件数０でした）

８月14日に発生した大型貨物、普通乗用車、軽貨物自動車が絡んだ事故では、国道113号線が４時間近く通行止めとなり、重傷者もありました。

スピードの出し過ぎに注意し、車間距離を十分にとりましょう。

◆現在、事故防止対策としてトンネル内における路面の改修工事や事故多発地点を示す看板の設置等が検討されています。

▲交通安全祈願祭のようす

無事故を願い 交通安全祈願祭

交通安全表彰も行われました

九月二十一日、秋の交通安全運動にあわせ、交通安全協会関川支部主催の「安全祈願祭」が打上の交通安全地蔵尊で行われました。

当日は、関係者や地元住民など約百人が出席。交通事故に遭わないよう、交通事故のない村にと誓いを新たにしたほか、交通安全功労者や優秀運転者の表彰も行われました。

＊敬称略

交通安全功労者表彰

■全日本交通安全協会長表彰

交通栄誉章「緑十字銅章」

▽須貝　康栄（高田）

■県警察本部長・県交通安全協会長表彰

▽高橋　八男（大石）

■村上警察署長・村上地区交通安全協会長表彰

▽伊藤　修（上関）

▽近　良平（大島）

優秀運転者表彰

■県警察本部長・県交通安全協会長表彰

―50年無事故無違反―

▽平田勇四郎（下関）

▽渡辺　正彦（大島）

―40年無事故無違反―

▽佐藤　栄作（朴坂）

―30年無事故無違反―

▽山口　章吾（蛇喰）

―20年無事故無違反―

▽新野由美子（片貝）

▽畠山サチ子（高田）

―５年連続死亡事故ゼロ表彰―

▽交通安全協会関川支部

議会の動き

九月定例村議会

九月定例村議会が九月七日から十六日まで、十日間の会期で開かれました。

ここでは、その主なものを紹介します。

条例

■村体験滞在施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

＊―光兎寮（上野新地内）の使用料金表のうち、光熱水費分について、一定の使用量を超えた分を利用者に負担していただくものです。

補正予算

■平成二十二年度一般会計補正予算（第四号）

＊「ゆ～む」の改修事業費、低所得者世帯への火災報知機無償設置事業費、若者定住促進事業として公営住宅を整備するための用地取得費等、一億七千五百五十万円を計上。

■平成二十二年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第二号）

＊出産一時金の基準額増額などにより、四百十万円を追加。

■平成二十二年度簡易水道特別会計補正予算（第一号）

＊浄水場（片貝・沼地区内）の修繕費として、百四十万円追加。

報告

■平成二十一年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

＊―地方公共団体財政健全化法に伴い報告するものです。

▽実質公債費比率　一五・三％

▽将来負担比率　六六・六％

決算認定

■平成二十一年度関川村各会計・水道事業会計の決算認定

＊―平成二十一年度の一般会計と十の特別会計、水道事業会計の決算について議会の認定を受けるものです。

なお、決算の詳しい内容については、広報せきかわ十一月号で紹介します。

キラリと光る「地域活性化事業」700万円

公開プレゼンテーション審査会を開催します

「地域活性化事業」について、広報せきかわ８月号で募集のお知らせをしましたが、応募いただいた事業について、プレゼンテーション（提案計画の説明）形式による審査会を行います。

プレゼンテーションは公開により行われますので、ぜひ会場へ足を運んで、ユニークな提案や斬新な提案を聞いてみてはいかがですか。

❑日　時

平成22年10月７日(木)　10時00分から

❑会　場

村民会館大ホール

❑日　程

10時00分　審査開始
・持ち時間は１申請10分以内

14時30分　審査終了予定

審査の結果は、次回の広報せきかわでお知らせします。

問い合わせ先
総務課企画財政班　TEL 64－１４７６

地上デジタル放送中継局が開局します

県内のテレビ放送事業者では、2011年７月のアナログテレビ放送終了に向けて、地上デジタルテレビ放送中継局の整備を進めています。これに伴い、村内でも関川局（湯沢山）に続き、２局目となる以下の中継局が開局します。

❑中継局名
関川女川中継局

❑放送区域
女川地区（一部地域を除く）

❑試験電波開始日
９月17日(金)

❑開局予定日
11月１日(月)

◇開局までの試験電波期間は、放送機器の動作確認などの試験を目的としているため、電波を減力等させる場合があり、映像が映らなくなることがあります。

地上デジタル放送に関する問い合わせ先
デジサポ新潟　TEL 025－333－0011
または
総務課企画財政班　TEL 64－1476

不審者に襲われたら…

関川小学校で『不審者対応訓練』

九月二日、関川小学校で全児童を対象に「不審者対応訓練」が行われました。

当日は、村上警察署生活安全課の音田係長と下関交番の渡邉所長が講師として訓練に参加。訓練では、不審者に襲われたら…を想定して、ランドセルや腕をつかまれた場合の逃げ方等を学びました。

村上警察署の音田係長は「不審者に襲われなくても、怪しいなと思ったら無理して近づかないこと。困った時は恥ずかしがらず、大声を出して助けを呼ぶことが大事です」と呼びかけました。

訓練に参加した村田麻結さん（三年・宮前）は「不審者にランドセルをつかまれても外して逃げれば良いということを学びました」と感想を話していました。

下関交番の渡邉所長は「不審者が小学校付近でウロウロしていることもあるので、絶対近づかないでほしい。不審者はうそをついて近づいてくるので、全く知らない人であればその場を離れた方が良い」と指導していました。

「どん底から這い上がれ」

シドニー五輪水泳銀メダリスト 中村真衣さん 講演会

九月八日、関川小学校でシドニー五輪水泳銀メダリストの中村真衣さんによる講演会が行われました。これは、関川小学校の開校記念行事としてＰＴＡが主催して行われたもの。当日は、児童や保護者など約四百五十人が集まりました。

講演のテーマは「夢は生きるパワーの源」。四歳から二十七歳までの二十三年間にわたる水泳人生の中で学んだことを自らの経験を通して話してくれました。

高校二年生のとき、アトランタ五輪に出場し、成績はタッチの差で惜しくも四位。自身初めての五輪でしたが、楽しい思い出は残らず、くやしさだけが残ったそうです。そのくやしさをバネにして努力を重ねた結果、翌年、世界最高記録を出しました。その後、中央大学へ進学し、大学三年生のときに出場したシドニー五輪百メートル背泳ぎで見事銀メダルを獲得。一位とはわずか〇・三秒差。「金メダルをとりたい―」四年後のアテネ五輪を目指し、猛練習の日々が続きました。しかし、アテネ五輪選考会で敗れ、夢は散りました。半年間、何もする気がおきなかったそうです。

そんなとき、テレビ番組で川口能活さん（プロサッカー選手）がこんなことを話していました。「真のアスリートの負けは闘いをやめること」この言葉が、中村さんを奮い立たせ、もう一度水泳選手として頑張ることができたそうです。

中村さんは子どもたちに伝えました。「どん底から這い上がれ」と…。困難にぶつかっても、立ち向かっていく生き方や姿勢が大切であることを自分の経験を通して教えてくれました。

真剣な表情で話を聞いていた子どもたち。きっと心に響く何かがあったのでしょう。

講演会に参加していた渡邉一史さん（下関）は「どん底から這い上がる根性は今の子どもにも必要だと思いました。そして夢を持つのは大切なことだと改めて感じました」と話していました。

渡邉邸の味噌蔵で「蔵と花」写真展を開催

現在改修中の国指定重要文化財「渡邉邸」では敷地内にある味噌蔵を利用し、写真展が開催されています。これは、NPO法人渡辺家が主催しているもので、写真は同法人の事務局長でありプロカメラマンでもある廣瀬佳明さんが撮影したもの。

「蔵と花」と題された写真展には、主に渡邉邸の庭園に咲く色鮮やかな花々の写真が展示されています。

廣瀬さんは「関川村は自然が豊かで、渡邉邸にも季節ごとにたくさんの花が咲く。まさに〝花園〟。観光客の皆さんに四季折々の花を見てもらい、それぞれの季節に足を運んでもらえるようなリピーターが増えてくれたら嬉しい」と話していました。

味噌蔵と写真展…意外な組み合わせですが、蔵には「味噌玉運搬具」や「味噌樽」そして「豆むしき」など昔ならではの道具も置かれていて、タイムスリップしたかのような不思議な空間となっています。展示されている写真は季節ごとに入れ替わり、いつも眺めている景色とは一味違った視点で村の四季を感じることができます。

ぜひ、この機会に味噌蔵へ足を運んでみてはいかがですか？

猛暑の影響？
さといもの花が咲きました

「まさか、さといもの花が咲いた…」。

中束集落に住む中束寅七さん・ウメさん夫妻は減反田を利用して、さといもの栽培を行っています。さといもを作り始めて30年。さといもの花が咲いたのは初めてのことでした。

今年はさといもを20株植え、８月末頃、そのうちの２株から花が咲きました。茎から伸びている、細長く黄色い花。中束さん夫妻はもちろん、近所の方たちも大変珍しがっていたそうです。

「せっかく咲いたのに、２～３日で枯れてしまったので残念です」とウメさん。猛暑の影響だったのでしょうか…調べたところ、さといもはもともと熱帯地方の植物。夏の暑さや日照時間の関係で、時々咲くことがあるそうです。

第一回 七ケ谷ふれあい運動会が開催されました

八月二十二日、七ケ谷ふれあい自然の家（旧安角小学校）で、第一回七ケ谷ふれあい運動会が行われました。

昨年までは「七ケ谷郷民運動会」として安角小学校の運動会と合同で開催されていましたが、小学校の統合によって、今年から七ケ谷体育協会（高橋健太郎会長）が実施主体となり「七ケ谷ふれあい運動会」として生まれ変わりました。

当日は、七ケ谷地区の住民約百五十人が参加。競技は白組（金俣・鮎谷・久保・蔵田島）と赤組（大石・安角・上川口）に分かれて行われ、熱戦が繰り広げられました。

猛暑の中、リレーやタイヤ転がしなど子どもから大人まで競技を楽しみ、応援席からは、熱い声援が送られていました。

選手も、応援の皆さんも汗まみれになっての運動会。お疲れさまでした。

まだまだ現役！
ハッスルプレー続出で大盛り上がり
～高齢者体育レクリエーション大会～

九月九日、村老人クラブ連合会（吉田明雄会長）と村主催の「第三十六回高齢者体育レクリエーション大会」が村民会館アリーナを会場に行われました。

大会には村内各地の老人クラブ十六チームが出場し、約三百五十人が参加。全六種目の競技を各クラブ対抗で競い、親睦を図りました。

いざ、競技が始まると「高齢者？」と首をかしげるほどのハッスルプレーが続出。会場は笑い声と歓声に包まれていました。

大会結果は次のとおり。

■大会結果

▽優　勝　川北老人クラブ
▽準優勝　蛇喰・上新保老人クラブ
▽第３位　平内新長寿会
▽第４位　安角・鮎谷老人クラブ
▽第５位　大金老人クラブ
▽第６位　湯沢友愛会

生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ
TEL　64－2134

図書室の窓から

村民会館図書室

秋の香りが日一日と濃くなります。朝晩は肌寒いので体調に気を付けてください。図書室には読書用の本だけでなく、趣味や園芸などの本もたくさんありますので、ぜひご利用ください。

この本よんで!!

「14ひきのねこのおかいもの」
たかぎ　あけみ著　Eタ

きょうは、14ひきのねこがとても楽しみにしていたパーティーの日。朝からお店がたくさんある遠くの街に買い物に出かけました。

今月の１冊

「生きてゆく力」
宮本登美子　著　914ミ

移り変わりの速い現代にあって、著者が「忘れないために」書き残しておきたいと綴った人々や風物に関するエッセイを中心に、著者の普段着の顔が浮かぶ一冊です。

今月の図書館バス

にじ色と、“汽車”のメロディーが目印です。

女川～川北～沢　方面 …　2(土)17(日)
大島～大石～片貝方面 …　9(土)24(日)

16日(土)は おはなしのかい
みんなできてね!!

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使っての演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎！無料です！

参加してくれたこどもたちにはかわいいシールをプレゼント！

祝日と毎週水曜日がお休みです。平日は13時～17時30分まで、土・日は９時～17時まで開館しています。

あなたに直撃 ⑨⓪

鈴木晶雄さん（下関）

９月18日・19日に行われた大蔵神社祭礼で青年団の一員として祭を盛り上げた鈴木晶雄さんに話を聞きました。

―今年の大蔵神社祭礼を振り返ってどうですか？
　今年は大蔵神社祭礼の日程も変わり、下関青年団一同、今まで以上に身を引き締めて行いました。無事にケガ・過ちもなく大蔵神社祭礼が行えたこと、心からお喜び申し上げます。
　来年もまた大蔵神社祭礼が盛大に行えるよう、下関青年団一同努めていきたいと思っております。

―青年団の一員として、今後後輩に伝えていきたいことは？
　今まで以上に厳しい時代になったとしても、人との繋がりを大切にして多くの友人を作り大蔵神社祭礼を大いに盛り上げていってほしいです。

―将来の夢を聞かせてください？
　私は正看護師になり、看護を必要としている人たちの支えになれる存在になりたいです。
　正看護師になるには、これからさらに進学し、４年間学業とアルバイトに励まないといけません。道のりは長く険しいですが、後悔のないように今を良く生きていきたいです。

―これから関川村に望むことは？
　時代の変化に順応し、周りのニーズに応えられる村づくりをしていってほしいです。

▶髙橋さん（前列右）と小池さん（前列左）

今後の飛躍を誓って・・・
がんばれ！関川っ子

八月二十六日、青少年育成関川村民会議（伝信男会長）は、今年二回目の「がんばれ！関川っ子」を関川中学校で開催しました。
　今回は、八月に福井県で行われた中学生柔道・北信越大会で、ともに三位の好成績をあげた高橋慎さん（三年・大石）と小池一毅さん（二年・下関）に、伝会長から記念品が授与されました。
　高橋さんは「本当は優勝を目指していたので、高校に行って優勝できるようこれからもがんばりたい」と、小池さんは「柔道で三位を取ることはできましたが、これからは相撲で頑張ることになるのでそこで優勝したい」とそれぞれ今後の飛躍を誓ってくれました。

大会結果

＊敬称略

第30回 新潟県スポーツ少年団 総合体育大会 卓球競技大会

■期日　８月21日
■会場　白根カルチャーセンター
■成績
―小学生男子団体戦―
▽第３位　関川スポーツ少年団

第18回 下越地区スポーツ少年団 卓球大会

■期日　９月５日
■会場　燕市体育センター
■成績
―小学生男子団体戦―
▽第１位　関川スポーツ少年団
―小学生女子団体戦―
▽第３位　関川スポーツ少年団
―中学生男子団体戦―
▽第３位　関川スポーツ少年団
―小学生男子個人戦―
▽第１位　近　陽貴（６年・大島）
▽第３位　市井　翔大（５年・山本）

タイガー魔法瓶カップ サマーゴルフジュニア チャンピオンシップ 全国大会

■期日　９月11・12日
■会場　烏山城カントリークラブ（栃木県）
■成績
―小学生女子の部―
▽第６位　瀬賀　百花（６年・下関）

健康せきかわ21
いきいきライフ

スポーツの秋です!!
「子どもの頃から楽しく正しい運動習慣を身につける」ためには・・・?

今年の夏は例年に比べ、特別暑く、熱中症になる方も多くみられました。そのため、今まで定期的にウォーキングをしていたのに、暑くて歩けなかったという方もいらっしゃるのではないでしょうか?

村では「すこやかで、いきがいに満ちた生活ができる地域づくりをする」という理念のもと、平成十七年三月に、村の健康づくり計画として「健康せきかわ21」を策定しました。計画では「栄養・食生活」「運動」「たばこ」が三本柱となっていて、「運動」分野では「子どものころから楽しく正しい運動習慣を身につける」という大きな目標を設定しています。

今年から小中学校ではバス通学になり、子どもの体力づくりも今後の課題となります。歩く機会が減った分、子どもの頃は外遊びをして体力をつけることが大切です。

また、村内の六十五歳以上の方のうち、約一五%の方が、十五分間続けて歩行ができないという調査結果も出ています。介護予防の面からも高齢者の下肢筋力のアップが求められます。そのためには、楽しく長く続けられる運動習慣を身につけたいものですね。

例えば、午後三時や夏休みのラジオ体操は手軽な運動となります。また、親子一緒に公園でウォーキングをかねて一緒に遊んだり、冬は閉じこもらずにふれあいど~むで一時間程度歩いたりすることも良い運動になり、皆さんの健康維持につながります。

村では皆さんの運動習慣づくりをお手伝いするため様々なイベントや教室を開催しております。気軽にご利用ください。

健康な生活を送るには「歯」が大切です

自分の歯で食べ、健康な生活を営んでいる高齢者を表彰する平成22年度「いきいき人生よい歯のコンクール」で、村から初めて佐藤忠さん（下関）が70代の部で奨励賞を受賞しました。

佐藤さんは日頃から歯の手入れを意識して行っていて、入れ歯の使用もなく28本の歯を維持しています。このコンクールは毎年県主催で開催されています。歯に自信のある70代・80代の皆さん、来年度は大勢の方の参加をお待ちしています。

関川村包括支援センター通信㉗

地域包括支援センター　役場庁舎内一階　☎六四―一四七三
（不在の場合は住民福祉課健康介護班へ転送されます）

湯沢・辰田新・上川口・小和田・内須川で「地域運動教室」を開催します

目標は転倒予防と筋力アップ！

◆運動習慣調査の結果から

昨年の高齢者レクリエーション大会に参加した皆さんを対象に、高齢者の運動習慣についてアンケート調査を実施しました。（男性百七人・女性百九十一人／計二百九十八人）

調査の結果、運動習慣のある人は男性四一・七％、女性三三・七％で、週に数回ラジオ体操やテレビ体操を実施している人が多く、中には毎日ウォーキングで健康づくりを実行しているという人もいました。

◆四人に一人は転倒骨折・関節疾患…要介護の原因です

一方で、年々足腰の筋肉が衰えたり、体力が低下する人も大勢います。生活に不自由が出てしまった状態を「老年症候群」と呼んでいます。

国の統計を見ると約四人に一人が、こうした骨折や関節疾患で歩行が不自由となり、介護サービスを利用しています。玄関で転んだ、お風呂場や廊下で転んだという話をよく聞きますが、他人事ではないのです。

◆高齢期だからこそ運動を！

在宅介護支援センター垂水の里では、平成十八年度から理学療法士の協力を得て筋力アップを目的とした体操を実施しています。参加者から『背筋が伸びて身体がしゃんとした』『台所に立つのが億劫（おっくう）でなくなった』などの嬉しい声が聴かれるようになりました。

今後は、ボールやセラバンド（ゴムバンド）を使って筋肉や骨の衰え防止を目的とした運動教室を、地域で開催したいと現在準備を進めています。毎月一回地域の運動教室に通うのが楽しい、元気が出てきたと言ってもらえるように地域の人たちと相談しながら取り組んで行きたいと思います。

健康講座 71

花火と喘息について

県立坂町病院　小児科　今田研生

今年の夏は今までにない程の記録的な猛暑でした。一般に今年のような猛暑の夏は喘息発作は比較的少ないものですが、夏休みになると今までずっと落ち着いていた喘息の子どもが久しぶりに発作を起こすことがあります。その子どもの家族の方に問診をすると、発作の前夜に手持ち花火で遊んだことがわかる場合があります。

新潟県には花火好きの人が多いようで、夏には打ち上げ花火の上がるお祭りがたくさんあり、その見物をしたことが喘息発作のきっかけになったと思われる子どももいます。花火の煙による喘息は、その程度に個人差が見られ、硝煙に含まれる化学物質の微粒子に対するアレルギー反応の有無も関与していることが疑われています。他にも煙を吸う機会があるキャンプファイヤーやバーベキュー等を数日前に楽しんだという話を聞くこともあります。さらには、八月十三日夜からの旧盆のころにはお墓参りの時の線香の煙や、帰省で大勢の親戚が集まった際のたばこの煙を吸って喘息発作を起こす子どもも見受けられます。

このように夏には煙に関係して喘息発作が起きることが少なくありません。喘息の子どもたちは気道が敏感な状態になっているので、刺激の強い微粒子が含まれた花火の煙などを吸い込むと強い咳込みなどが起きやすいのです。

喘息の子どもは煙の出るレジャーはできるだけ避けることが望ましいですが、花火のできない夏休みは、それが好きな子どもにとってはとても味気ない寂しいものかもしれません。他の子どもたちがしている花火をサッシを閉めた室内からガラス越しに見るのでは、とても我慢できないでしょう。風向きを考えて常に風上にいるようにしながら、マスクを着用したりしてできるだけ煙を吸わないようにして花火を楽しむのが現実的な選択かもしれませんが、小児科医としての立場からは、それもあまりお勧めしません。

＊このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。☎六二―三一一一

平成22年度
秋季消防演習・定例表彰式

村の消防団員二百五十八人が一堂に会した秋季消防演習と定例表彰式が、九月五日、ふれあいど～むを会場に行われました。

消防演習では、非常召集訓練で各分団が一斉に放水を行ったほか、人員・姿勢・服装・機械器具の点検を実施。

また、定例表彰式では、優良消防団員やその家族など六十一人に県知事や県消防協会長などから、また、一定期間以上勤続した優良団員四十一人に村長や団長から、それぞれ表彰状が贈られました。

優良消防団員表彰

○数字は分団名。敬称略。

《日本消防協会長表彰》
―精績章―
小池　稔（前副団長・下関）

《県知事表彰》
―功績章―
河内　政彦（③・上野山）
大島　聡（④・上野新）
富樫　一男（⑤・下土沢）

《県消防協会長表彰》
―功績章―
伊藤　賢（①・下　関）
八幡　勉（⑥・八ツ口）
髙橋　勝（⑦・大　石）

《県知事と県消防協会長、関川村長表彰》
―精勤賞・功労賞（30年以上勤続）―
丹内　龍司（⑥・金　丸）
伊藤　春雄（⑥・聞　出）
横山　和夫（⑦・蔵田島）

《県知事と県消防協会長表彰》
―精勤章（20年以上勤続）―
渡邉　保（②・上　関）
髙橋　数文（④・蛇　喰）

加藤　耕栄（⑦・鮎　谷）
渡邉　克英（②・上　関）
渡邉　利彦（②・上　関）
池田　進（②・下川口）
平田　一司（③・滝　原）
平田　寛光（③・小　見）
髙橋　雅人（④・蛇　喰）
平田　浩（④・上野新）
伊藤　浩昭（⑥・聞　出）
佐藤　久志（⑦・安　角）
加藤　清弥（⑦・鮎　谷）

《県消防協会長表彰》
―精勤章（10年以上勤続）―
新野太一郎（⑥・金　丸）
松田　晃太（①・下　関）
船山　豊（①・勝　蔵）
加藤　貴光（①・内須川）
平田　勝彦（③・　桂）
横山　友幸（⑦・久　保）
髙橋　猛（⑦・金　俣）
小池　宏昌（①・上　関）
伊藤　雅博（①・下　関）
渡邉　一也（①・打　上）
新野　竜之（①・南赤谷）
近　和則（①・辰田新）
渡辺　真一（②・上　関）
五十嵐義和（②・湯　沢）

石山隆一郎（②・上　関）
渡邉　悠（②・上　関）
須貝　博喜（③・高　田）
須貝　和幸（③・高　田）
須貝　吉衛（③・　桂）
手塚　眞幸（④・上野新）
小路　勉（④・深　沢）
近　豊（⑤・大　島）
山口　誠（⑤・上土沢）
大沼　建吾（⑤・上土沢）

《県消防協会岩船地区支会長表彰》
―功績章―
松田　雅人（①・下　関）
船山　勝（①・打　上）
遠藤　信一（②・高　瀬）
津野　隆（④・宮　前）
新野太一郎（⑥・金　丸）
菅原　健（⑥・片　貝）
加藤　耕栄（⑦・鮎　谷）
河内　一栄（⑦・大　石）

―23年以上勤続団員の家族―
渡辺　綾子（上　関）
山口　直美（上土沢）
田村　泰子（下土沢）
八幡　優子（八ツ口）
横山　由架（上新保）
小島　カツ（下土沢）
駒沢　美紀（鍬江沢）
伊藤トメエ（　沼）

《村長表彰》

―平成21年度退職者―

（10年以上勤続）

小池　稔（副団長・下関）
船山　竹彦（①・打上）
相馬　公洋（①・下関）
山口　忠裕（①・辰田新）
渡辺　和明（②・上関）
堀　晶雄（②・沢）
平田　正和（③・滝原）
渡辺　和雄（④・宮前）
伊藤　守（④・南中）
駒沢　茂（⑤・鍬江沢）
近　英夫（⑤・幾地）
新野　君雄（⑥・金丸）

―勤続章―

（25年以上勤続）

新野　清（⑥・片貝）

《村消防団長表彰》

―勤労章―

東　圭一（①・下関）
松田　晃太（①・下関）
船山　豊（①・勝蔵）
平田　和幸（①・辰田新）
斎藤　好雄（①・南赤谷）
加藤　貴光（①・内須川）
佐藤　貴雄（②・湯沢）
中村　篤（②・高瀬）
渡邉　貴裕（④・小和田）

新野　康弘（⑥・金丸）
八幡　忠隆（⑥・片貝）
河内　一雄（⑦・大石）
須貝　誠二（③・下関）
山口　征樹（④・蛇喰）
近　利行（⑤・大島）
須貝　博毅（⑤・大島）
阿部　隆之（⑤・大島）
傳　崇宏（⑤・大島）
駒沢　勝則（⑤・鍬江沢）

―勤続章―

（15年以上勤続）

遠藤　信一（②・高瀬）
平田　稔（③・松平）
横山　芳則（④・若山）

沢田　浩（⑤・大島）
井上　昇（⑤・上土沢）
八幡　忠隆（⑥・片貝）
松田　敏幸（①・下関）
須貝　誠二（③・下関）
山口　征樹（④・蛇喰）
鈴木　克巳（④・南中）
伊藤　正志（④・南中）
近　利行（⑤・大島）
須貝　博毅（⑤・大島）
阿部　隆之（⑤・大島）
傳　崇宏（⑤・大島）
駒沢　清人（⑤・鍬江沢）
駒沢　勝則（⑤・鍬江沢）

地域を守り、地域に安心を与える
消防団は地域のために活動しています

随想リレー 79

先生から先生に

相馬和憲 先生

（関川中学校　１年担任）

突然ですが、みなさんは食わず嫌いにしている食べ物はありますか？某テレビ番組でも「食わず嫌い王決定戦！」なんていうコーナーがあるくらいですから、誰にでも一つくらいはあるのかもしれませんね。

実は私も、最近まで「すじこ」というものを食べたことがありませんでした。食べ物を見た目で判断するというのも、ものすごく悪い気がするのですが、なんだか血がにじんでいるような気がして…食べる気が全くしなくて、三十数年間、避け続けてきた食べ物でした。

しかし、ふとしたきっかけで「すじこ」を口にすることがありました。おにぎりに入っていた「すじこ」を食べてしまったのです。そう、おにぎりの中身が何か分からずに食べてしまったのです…。

中身が「すじこ」だと分かった時には「あっ！」と思いましたが、なんとびっくり！それがおいしかったのです。

こう考えると、食わず嫌いにしていたことがもったいなかったなぁと思います。見た目だけで判断してしまったり、自分には無理だと勝手に思いこんだりしてしまったりすることって食べ物に限らず意外とあるものです。

だからこそ、勇気をもっていろいろなことにチャレンジしていきたいと思う今日この頃です。

11月１日号は、関川小学校の 青野兼太郎 先生にバトンタッチ！

このコーナーに登場していただける方を募集しています。自薦他薦は問いません。

じっくり心をこめて

スローフード 79

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

キャロットケーキ

キャロットケーキにはビタミンAがたっぷり詰まっていて、人参が苦手なお子さんでも、おいしくいただくことができます。
おやつにどうですか？

材料（10個分）

・人参　130g　　・卵　2個　　・砂糖　60g
・サラダ油　50g　　・薄力粉　120g
・ベーキングパウダー　小さじ1と1/2
・シナモンパウダー　小さじ1/2

作り方

① ボウルに卵を割り、砂糖・サラダ油を入れ泡だて器でよく混ぜる。
② 薄力粉・ベーキングパウダー・シナモンパウダーを振り入れて、ゴムベラでさっくりと混ぜ、その後、すりおろした人参を入れて再度混ぜる。
③ 型に流し入れ、170℃のオーブンで20～25分焼く。

※シナモンパウダーは香り付けなので、なければ入れなくても良い。バウンド型だと30～40分位かかる。

せきかわ文芸

短歌

猛暑とて季節は秋よと「コスモス」の花愛しかり休耕田に　須貝　恵美（高田）

繙（ひもと）けば古語の言葉に暑（あつ）るとあり暑（あつ）る苦しみ術なく続く　小池　啓子（下関）

遠花火突如と上るスターマイン夜空を彩り後の静寂　佐藤　庄七（愛広苑）

時折に激しく雨の降る夜は鳴く虫の声ひとしお寂し　渡辺千恵子（上関）

猛暑にも耐えて咲きつぐ昼顔は千草に絡む秋の道の辺　山口　藤枝（辰田新）

近・現代 関川郷の人びと

執筆者：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

本間重治

猫ちぐらを考案し関川村の代表的な特産品に育てた本間重治は明治四十四年十二月二十六日関川村小見前新田に本間平吉の三男として生れた。

女川村立川北尋常高等小学校を卒業。高等科在学中は勉学に励むだけでなく、村上で開催された岩船郡の弁論大会に出場するなど積極的に活躍した。

戦前は日立製作所に勤務していたが終戦後帰省し、昭和二十五年頃から下関の渡邉邸に勤務。歴代の番頭のもとで外まわりの仕事を担当。庭木の剪定など庭園の手入、冬囲い、雪下しなどのほか、ニワトリなどの家畜の世話、また農地解放後僅かに残った田畑の耕作まで万事本間重治の手のかからないものはなかった。真面目で仕事熱心であったので当主の信用は絶大であった。終戦後渡邉家の難局を陰で支えた本間重治の功績は大きい。

渡邉家十一代当主渡辺万寿太郎夫人光江は大の猫好きであった。手先が器用でワラ仕事も達人の域に達していた本間重治は子供の頃父親が炉辺で作っていた猫ちぐらを思い出し、昭和五十五年頃、工夫を重ねてコシヒカリの長いワラ二十把を使用して猫ちぐらを作り上げた。この猫ちぐらが渡邉邸の囲炉裏のそばに置かれていた。

昭和五十七年二月、たまたま観光バスで東京から渡邉邸を見学に訪れた観光客の中に、東京渋谷区の猫専門店「ねこま」のお上（かみ）がいた。お上は猫ちぐらを見て大いに感動して是非一個作って欲しいと要望した。本間重治は快諾して、後日念入りに仕上げて送り届けた。これが特注の第一号であった。丁度この頃村主催の物産展に出品したところ大評判となり、新聞、テレビ、雑誌等に紹介され全国的な反響を呼び起こし注文が殺到した。

このため村当局も生産態勢の拡大や技術の習得・向上にのり出し、本間重治を講師として講習会を開催した。昭和五十七年頃より本間重治を中心として有志により「猫ちぐらの会」が結成され活動していたが、その後会員や受注数の増加により会の内容を整えることが必要となり、昭和六十年会則を定めて、任意団体「関川村猫ちぐらの会」を発足させた。以後年々製作技術が向上し、形の整った誠に美しく芸術品のような猫ちぐらが製作されている。猫ちぐらを考案し、村の代表的特産品に育てた本間重治の功績は大きい。後継者の育成に努め、八十歳代まで作り続け、平成十七年五月二十六日九十四歳でこの世を去った。

○本間家の系図

先祖…平吉―重治（三男）
- ユキ子
- 孝次―孝之

せきかわ文芸

関川俳句の会作品

竹落葉掃きたる墓地のその後に　渋谷　くに

お盆過ぎ早秋の色身にまとう　渡辺しづい

炎天下秋の気配やすすきの穂　南　セツ

信号を待つ一時や涼風に　青木　慶一

サルビアの花文字走る通過駅　五十嵐貞子

せきかわ川柳会作品「峰」「釦」「雑詠」

再入院猛暑知らずの病棟よ　佐藤　ノブ

食事前そっと釦を緩めてる　渡辺しづい

舞茸山父はあの峯マークする　平田　千恵

若いけど釦気に入り買い求め　南　セツ

甲子園若さのパワー腰が伸び　本間　イミ

戸籍の窓

●８月16日～９月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

ひなたちゃん（女）　沢
河内孝文・香さん

陸叶（りくと）ちゃん（男）　深沢
余語寛之・理枝さん

すえながくお幸せに

近（池田）　祐希さん　さつきさん　高田（村上市）

ごめい福をお祈りいたします

伊藤　勝雄	さん	69歳	下関
前田ハルヱ	さん	85歳	上野原
中束　スヱ	さん	90歳	中束
近　リク	さん	91歳	下関
伊藤　シゲ	さん	91歳	南中
渡邉喜惣左ェ門	さん	89歳	小和田

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

平成22年８月末現在　（　）は前月対比

世帯数	2,052世帯（－３）
総人口	6,689人（－23）
男	3,189人（－12）
女	3,500人（－11）

転入	７人	転出	21人
出生	２人	死亡	11人

編集室から

▶今年の夏は記録的な猛暑となり、９月になっても暑い日が続きました。最近ようやく涼しくなり、過ごしやすくなりましたね。外に出れば稲刈り、保育園では運動会…と秋本番を迎えようとしています。秋と言えば…スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋。みなさんは何をして過ごしますか？
やっぱり、外で過ごすのが一番気持ち良いのかなぁ。　（あ）

野山草 79

ツルソバ

ツルソバはタデ科の多年生つる草で、日本南部～沖縄、中国、インドなどに分布し８～９月に円すい状に白色の小花をつけます。ソバに似ているつる性植物なのでツルソバと呼ばれていますが、実はソバ粉に使用しません。一般的に栽培しているのは、ヒマラヤ原産で９～10月頃ピンク色の花を咲かせるヒメツルソバです。性質が丈夫なので明治時代にロックガーデン用に導入され、グランドカバーとして用いられています。コンクリート階段のすき間に広がって繁殖している様は、この花の丈夫さを物語っています。

栽培方法　非常に強健種で繁殖力も旺盛なので、栽培に特別注意する必要はありません。ヒマラヤ原産ですが、冬季に降霜すると地上部が枯死するので、一見枯れてしまったと勘違いしますが、よほど凍結しない限り翌年に新芽が成長しますので、鉢から捨てないように注意してください。増殖は種子や株分け、挿し木とどれも容易です。１株で直径50㎝くらいの大株になるので、地面いっぱいに広がったヒメツルソバを観賞してみたいものですね。

◆六聖園（富樫幸子・上関）

わが家の人気者

菅沼裕介さん　ミミ子さん（中束）

芹華（せりか）ちゃん（10歳）
愛里菜（ありな）ちゃん（５歳）

お姉の芹華は、５年生。関川小学校にも慣れ、新しい友達もいっぱいできて、楽しい毎日を送っています！妹の愛里菜も、毎朝、寝坊助との戦いがあり、仲間（？）のじぃやに励まされ、頑張って元気に保育園に通っています！いつも、ケンカばかりの二人だけど、思いやりを忘れずに、ずーっと素直な娘（こ）でいてネッ!!

発行／関川村
編集／総務課

〒959-3292　新潟県岩船郡関川村大字下関912番地
Tel 0254-64-1476　Fax 0254-64-0079
ホームページ　http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/
メール　somu@vill.sekikawa.niigata.jp